

令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部収納課

総務部長 坂元 照幸

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
9-1	市民税等徴収事務	なし	A	<p>現年課税分の収納率は99.85%（前年度99.61%）で、目標を0.03ポイント上回る結果となった。滞納繰越分については、収納・停止率が68.50%（前年度53.45%）で目標値を8.5ポイント上回った。これは、令和2年度に行った新型コロナウイルス感染症に係る徴収猶予の特例制度の対象となった滞納繰越分について納付勧奨を実施し、確実に収納したことによるものである。</p>	改善 推進	<p>現年課税分の高い収納率を維持するため、引き続き初期滞納者への早期財産調査・滞納処分を強化していくとともに、クレジット決済を始めとするキャッシュレス化に対応した納税環境整備を実施していく。滞納繰越分については、財産調査の入念に行い、滞納処分もしくは執行停止につなげていく。</p>
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
A	<p>令和3年度決算における現年課税分の収入済額は23,147,630,728円、収納率は99.85%と目標値を0.03ポイント上回る結果となった。また、滞納繰越分についても、収納・停止率68.50%で目標値を8.50%上回る結果となった。滞納繰越分について令和2年度に新型コロナウイルス感染症にかかる徴収猶予の特例制度の対象となった税金等に対し納付勧奨を実施し、確実な収納に努めたことにより、収納率は52.7%（前年度27.11%）で25.59%上回った。</p> <p>「市税等収納向上基本方針」に基づき、高い収納率を維持するため様々な取り組みを実施しており、令和3年度は、差押えに応じない第三債務者に対し、支払督促を行うなど、新たな角度から徴収事務に取り組んだ。</p>					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
A	<p>市の財政運営の根幹をなす市税等収入を確保することは、安定した市政運営と、そこで暮らす市民にとって大変重要なことである。</p> <p>令和3年度は、現年度課税分、滞納繰越分ともに目標値を上回り、高い成果を残すことが出来た。また、継続して収納率向上に取り組んできたことにより、差押えや執行停止についても減少傾向にあり、一時的に増加した累積滞納額についても大きく減らすことが出来た。これは、本来の目的である納期限内納付、滞納処分によらない自主的な納付の意識が醸成されてきたことによるものと考えている。また、クレジット収納等納付のキャッシュレス化を推進し、納税者の利便性の向上に努めていく。</p> <p>生活困窮に陥っている納税者に対しては、自立相談窓口となる生活援護課との連携を図り、それぞれの状況に応じた適切な対応に努めていく必要がある。</p>					